

**学校名** 美里町立松久小学校  
**所在地** 美里町駒衣341-2  
**電話** 0495-76-1355

## 1 本校の概要

本校は自然環境に恵まれ、176名の児童が在籍している。児童は明るく純朴である。全学年が単級で小規模のため、互いによく分かり合っており、学年の枠を超えて大変仲がよい。学区内には町立図書館があり、読書環境は比較的整っている。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・ 読書活動の充実
- ・ 読書環境の整備
- ・ 家庭や地域との連携



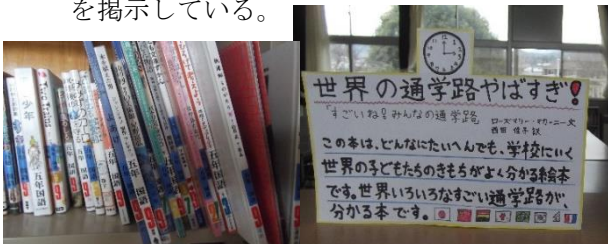
### (2) 実践の概要

#### ア 年間を通しての取組

○年度初めに1年間の読書目標冊数を提示（低…100冊、中…70冊、高…50冊）し、達成者を表彰、顔写真を掲示する。



- 毎月、児童の読書量を担任が集計する。月毎の読書目標冊数（年間の10分の1）達成者に図書委員会が作成したしおりを贈る。
- 高学年の国語学習と関連させ「おすすめの本」を掲示している。



○学級文庫に『国語の教科書に出ている本』を置き、国語学習にすぐに役立てたり、気軽に

本を読めたりできる教室環境を整えている。

- 月2回、地域ボランティアによる『読み語り』がある。2月には、全校児童が感謝の手紙を書き、「ありがとう集会」を実施する。



- 町立図書館から、年2回1カ月の団体貸出しがある。

### イ 読書チャレンジ月間（11月）の取組

#### ○「本だいです木」の取組

目標（学級・個人）を決めて、本を読み終わる毎に実カードを貼り重ねる。（全児童）



- 全家庭での親子読書実施と実践カード提出。
- 読書量の多い児童の表彰。（図書委員会）

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

- ア 低学年は、平均読書数が150冊を超え、ほとんどの児童が年間読書目標を達成できた。
- イ 図書委員会や、高学年がおすすめした本が多く借りられている。
- ウ 保護者から「親子読書を通し、読書をする機会が増えた。」との感想があった。

### (2) 課題

- ア 全体の読書量は増加しているが、個々の読書量に差がある。
- イ 学年が進むとともに読書時間の確保が難しい。

